

別記様式（第14条関係）

附属機関等会議録

令和3年1月20日

| | |
|-----------------------|---|
| 会議の名称 | 令和2年度 第43回島田市諏訪原城跡整備委員会 |
| 開催日時 | 令和3年1月13日(水曜日) 13時45分から 16時00分まで |
| 開催場所 | 島田市博物館工作室、諏訪原城跡 |
| 会議の議題 | 《報告事項》 ●令和2年度諏訪原城跡整備事業について ●令和3年度諏訪原城跡整備事業について 《協議事項》 ●二の曲輪北馬出史跡整備工事について ●今後の整備スケジュールについて 《現地視察》 |
| 会議の公開又は全部若しくは一部の非公開の別 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開（全部 ・ 一部） |
| 会議の全部又は一部の非公開の理由 | |
| 公開の場合の傍聴人の数 | なし |
| 出席者の氏名等 | 整備委員：小和田委員長、三浦副委員長、高瀬委員、加藤委員、前田委員、中野教育部長 アドバイザー：溝口班長（県文化財課） 事務局：又平課長、和田課長補佐、萩原主任学芸員、渡邊技師、坂巻学芸員、田畑会計年度任用職員 |
| 会議の結果 | 〈報告事項〉 ●令和2年度諏訪原城跡整備事業について 博物館課事業について、下記のとおり報告を行った。 1. 史跡整備関係について (1) 諏訪原城跡史跡整備事業・・・二の曲輪北馬出の土塁等の史跡整備工事として復元した城門の東側の土塁及び土塁上工作物の設置。 (2) 諏訪原城跡パンフレット10,000枚増刷。 2. 教育普及関係について (1) 整備委員の先生による諏訪原城講演会として、今年度は、令和3年1月31日（日）に前田利久先生による「古文書から見る諏訪原城の姿！－戦いの城の日常生活に迫る！－」題して、金谷公民館みんくるにて開催予定。すでに満席（募集定員60名）となり、1月26日までの募集は、現在受付終了とした。 (2) 諏訪原城ビジターセンターでの展示コーナーの活用に関しては3ヶ月ごとに展示替えを行い、見学者に情報を提供した。 (3) 諏訪原城に関する出前授業や小中学校の社会科見学の対応 今年度は、コロナの影響により、出前授業等の申し込みは減少。 |

例年は、6～7件ほどの依頼があるが、今年度は中学の出前授業が1件であった。

3. その他（環境整備事業）

NPO法人里山仕事しよんた塾による曲輪等平坦地の枯木及び倒木の整理を昨年11月から今年の2月にかけて第3日曜日に実施予定。1月は、17日に予定。また、金谷退職者福祉共催会等の市民団体等による二の曲輪の除草作業を11月14日に実施した。

4. 諏訪原城の活用・プロモーションについて

文化資源活用課による活用事業について、下記のとおり報告を行った。

(1) 春風亭昇太師匠を隊長に迎え、諏訪原城応援隊結成し、島田市民限定の結成記念イベントを9月27日に開催。（参加者132名）今後、諏訪原城の啓発活動をお願いする。

(2) 今年度もお城エキスポに参加（12月19日、20日）。（参加者約9,000人）今回は、2回目の参加となり、限定御城印を販売。

(3) 島田市国際交流協会より、諏訪原城パンフレット作成の申し出があり、英語版諏訪原城簡易パンフレットの作成。観光協会や島田市国際交流、お城エキスポ等のイベントで配布。今後、需要があれば、もう少し詳しい内容での作成を検討。

(4) 諏訪原城応援隊戦記のリーフレット発行し（年2回程度）、プロモーション等を市民の皆さんに知ってもらう。

(5) ふるさと納税返礼品に諏訪原城Tシャツの追加。昨年の12月末に始めたばかりなので、反響がまだわからない。今後の経過を見て、諏訪原城の宣伝に活かしたい。

●令和3年度 諏訪原城跡整備事業計画(案)について 博物館課事業について、下記のとおり報告を行った。

1. 史跡整備関係

(1) 諏訪原城跡史跡整備事業・・・二の曲輪北馬出の土塁等の史跡整備として復元した城門の西側の土塁及び土塁上工作物の設置。また、二の曲輪北外堀及び南外堀の基本設計に伴う事前測量の実施。

(2) 諏訪原城跡パンフレット10,000増刷。（城エキスポ及び一般配布用）デザインの変更、続日本100名城認定項目を入れて改訂版を作成予定。

2. 教育普及関係

(1) 来年度は、令和3年11月20日（土）に、（仮題）「諏訪原城を駆け抜けた武将たち～武田家臣団 VS 徳川家臣団～」と題して、小和田哲男先生による諏訪原城講演会を金谷公民館みんくるにて開催予定。

(2) 諏訪原城ビジターセンターでの展示コーナーの活用

(3) 諏訪原城に関する出前授業や小中学校の社会科見学の対応

3. その他（環境整備事業）

NPO法人里山仕事しよんた塾による曲輪等平坦地の枯木及び

| | |
|-------------|---|
| | <p>倒木の整理。また、金谷退職者福祉共済会等の市内団体による二の曲輪等の除草作業など、市内の関係団体と協力しながら環境整備を行う。</p> <p>4. 諏訪原城の活用・プロモーションについて</p> <p>文化資源活用課による活用事業について、下記のとおり報告を行った。</p> <p>(1) 諏訪原城応援隊による諏訪原城イベント</p> <p>(2) お城エキスポ参加</p> <p>(3) 諏訪原城応援隊戦記のリーフレット発行（年3回程度）</p> <p>(4) 環境整備や史跡整備事業でのクラウドファンディングの検討</p> <p>※整備委員会委員より、クラウドファンディングの目的等の質問があり、事務局では、環境整備や史跡整備事業での実施。また、クラウドファンディングに協力して頂いた方々への見返りとして、堀底に入ったり、クラウドファンディングによる整備成果のお披露目や応援隊とのイベントへの参加等、今後、検討していくと回答。</p> <p>〈協議事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●二の曲輪北馬出史跡整備工事について <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の史跡整備工事は、城門東側の土塁及び土塁上工作物の設置を行っている。また、転落防止柵設置箇所について説明。 ・令和3年度の史跡整備工事内容については、城門西側の土塁及び土塁上工作物の整備工事について説明を行った。 ●今後の整備スケジュールについて <p>諏訪原城の啓発ということで、令和5年度に諏訪原城築城450年記念イベント、令和7年度に国指定50周年イベントの計画をスケジュールに追加した。</p> <p>※整備委員から特に質問は出なかったが、現在のコロナ渦の中で事業が縮小していく可能性があるため、それを踏まえたスケジュールを検討するようアドバイスがあった。</p> <p>事務局では、今後の社会情勢を見つつ検討していくと回答した。</p> ●現地視察 <p>二の曲輪北馬出史跡整備工事の現地視察を行った。整備委員から土塁の角度の修正等の指示を受けたため、その指示に基づいて工事を進めていくことになった。</p> |
| 提出された資料等 | <ul style="list-style-type: none"> ●令和2年度諏訪原城跡整備事業の進捗状況について ●令和3年度諏訪原城跡整備事業計画（案） ●二の曲輪北馬出整備工事について ●諏訪原城全体整備計画年次表 |
| 会議を所管する課の名称 | 島田市教育委員会博物館課 |
| その他必要な事項 | |